

## ICT（映像資料）の有効活用

[社会科]

1. 使用物 AppleTV、Ipad（NHK for school）、Wifi

2. 目的 最新の映像資料を使用することで、各分野の興味関心を深める。  
実物を映像資料や音で見ること、各分野の知識の理解を深める。  
社会的な諸問題を映像で確認し自分なりの答えを文章で表現することで、各分野における思考判断の力を高める。

3. 使用方法

各番組 10 分程度のものであり、現在二つの意図をもって使用している。

一つ目は続けて見せるのではなく先に教科書や資料集で紹介したものを確認しながら見せたり、途中で映像を止め既習内容の確認を行ったりする方法である。毎時間行っている生徒も慣れてきており、関心意欲を深め知識の確認をすることに役立っている。

二つ目は、思考判断の問題【記述問題】の思考の導入に活用する方法である。映像を見て「課題」に対する解答を文章で表現する時に使用している。

例：「なぜアフリカには資源がたくさんあるのに貧困が続いているのか」

映像資料を見た後に、自分で文章にすることで表現力をはかる。

\*映像資料には解答となる部分が映像で示されておりそれを意識させる。

(1) 地理的分野

10分ボックス「地理的分野」【10分】

世界の各地域や日本の各地域を一つの疑問を中心に映像を交え紹介する番組。

(2) 歴史的分野

歴史にドキリ【10分】

歴史上の人物を中心にその時代の出来事について簡単にまとめた番組。

4. 使用でのメリット

- ① NHKの最新の番組を使用しているため、情報が新しい。  
例：イギリスのEU脱退の理由等
- ② 映像が分かりやすく編集してあり生徒の興味関心を引きやすい。
- ③ Ipadでの使用なので、画面を大きくしたりスクリーンショットをして画面を切り取ったりすることで分かりやすく画像などを編集することが出来る。
- ④ Apple TVでの接続は常に安定しているため、接続を心配することがない。  
(有線だと接続が切れやすく、Ipadとの連携が上手くいかなかった)
- ⑤ 動画サイトなどの資料と異なり信頼性がある。

5. 使用でのデメリット

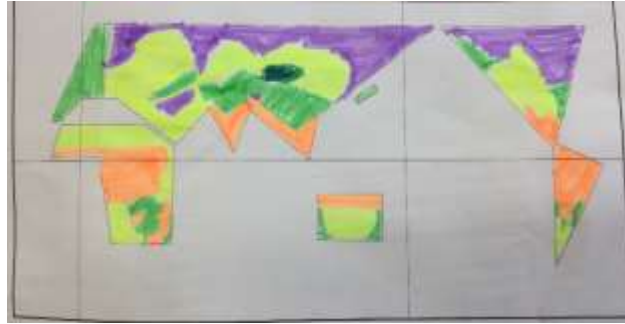
- ① Wifi環境が必要である。(ネット環境が不可欠であり準備に時間がかかること)
- ② 映像資料と自作プリントや教科書との接続を円滑にしないと逆に生徒が混乱することがある。

## 授業実践例とその効果

## ○ グラフや資料を読み取る力の育成

社会科では、生徒が時代背景や因果関係を把握するうえで、グラフや資料を読み取りがかせない。そこで、精選した資料を電子黒板にし、生徒自身に資料の読み取り方や読み取る際ポイントを全員の前で説明させる「先生制度」取り組みを行った。この取り組みでは、書き込ができる特性を生かし、書き込みをしながら生徒が説明をするよう工夫した。学級全体で留意点を共有し、生徒のプレゼンテーション力の育成につながって行くことが期待できる。

[生徒が説明時に使用した資料]



ど  
欠  
写  
の  
の  
み  
徒

## ○ 「ライブ感」のある授業の展開

タブレット端末の映像を、リアルタイムで黒板に表示できる特性に着目し、生徒がワークシートに記入した考えやまとめを表示している。全体での発表が苦手な生徒にとっては、自分の考え方に自信をもつきっかけとなり、また、他の生徒にとっても異なる考え方や表現に気づくチャンスとなっている。また、授業での一瞬のできごとを見逃さない意識をもつことで、私自身も「今、生徒がどのような考えで記入しているのか」「この考えを全体に投げかけたらどのような反応になるだろうか」など、想像力をかきたてながら臨めるようになった。

[生徒のプリントを映した様子]



## ○ 支援ツールとしての活用

生徒の中には、ワークシートに板書を記入する際に、どこに何を書いてよいのか迷っている生徒が数名見られる。以前は、一人ひとり様子を注意深くうかがい、その都度指導していたが、授業を進行するにあたって負担に思うことがあった。そこで、実際に生徒に配付しているワークシートを写真に撮り、それを拡大して黒板に表示するようにした。書き込む様子も映し出すことで、支援が必要な生徒にとっては「どこに、何を書くのか」が明らかとなり、ノート指導の回数も減少した。

[電子黒板に映したプリント]

